

こっこめ通信 02 2009

「クモ特集」号



八丈島ではアカコッコのことを親しみを込めて「こっこめ」とよびます。

年末前から咲き始めたヤブツバキ、この冬は花の数がとても多く、シチトウメジロがうれしそうに鳴いています。また、暖かな日にはウグイスやコジュケイ、シジュウカラのさえずりも聞こえてきます。ウグイスのさえずりは年末から聞こえ、八丈島は全国で一番早いさえずりが聞こえる場所だそうです。

さて、今回はクモ特集「公園内で見られるクモたち」「八丈島産クモ類」についてのお話です。

公園内で見られるクモたち



アシダカグモ *Heteropoda venatoria*
網を張らずに徘徊し、島の中では一番大きなクモです。日中は物陰に潜み、夜間に虫などを捕食する益虫でもあります。



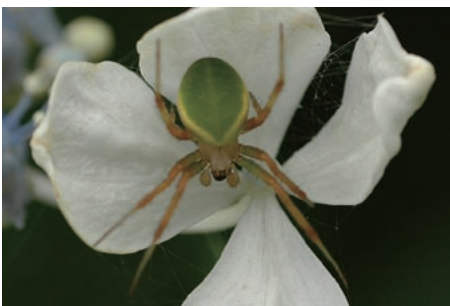
アリグモ *Myrmarachne japonica*
アリにとってもよく似て、脚の数を確認して初めてクモと分かります。園内では葉の上を歩き回る姿をよく見かけます。



イオウイロハシリグモ *Dolomedes sulfureus*
葉の上や地面で脚を広げて獲物を待ちかまえるクモ。人の気配を感じるとすぐに草の中に隠れてしまいます。



ササグモ *Oxyopes sertatus*
葉の上や花の近くで見られるクモ。体は薄い緑色で歩脚の黒い刺が目立ちます。笹の葉から名前がつけました。



サツマノミダマシ *Neoscona scylloides*
腹部は緑色で縁が黄色く縁取られています。昼間は葉の間などに隠れていることが多く、春から夏に普通に見られます。



ジグモ *Atypus karschi*
地中性のクモで石垣や樹木の根元に管状の巣を作ります。触肢が短く、上顎が発達しているのが特徴です。



スズミグモ *Cyrtophora moluccensis*
ここ数年のうちに数を増やしているクモです。春から夏にかけてパラシュート状の網を作り、中心でじっとしています。



チュウガタシロカネグモ *Leucauge blanda*
園内で一番多く見かけるクモです。腹部は鮮やかな金色で前端部は盛り上がり、黒点があるのが特徴です。



コハナグモ *Diaea subdola*
花の上で見られるクモで飛来する昆虫を捕らえます。全体は緑色、腹部の茶色い模様は個体差があります。

「アカコッコ」は日本固有のツグミ科の鳥で、国の天然記念物に指定されています。八丈島では一年を通して見られ、町の鳥にも選定されています。

八丈島産クモ類

クモはいったいどのくらいの種類がいるのでしょうか？ 現在世界中で約35,000種、日本では約1,450種のクモがいると言われています。ではそのうちいったい何種類が八丈島で見られるのでしょうか？そこで過去の資料やビジターセンターで撮影した写真を基に「八丈島産クモ類目録」を作成してみました。

以前はたくさん見られたジョロウグモ、最近になって見られるようになってきたスズミグモ、島の中でも見られるクモが変化しているようです。現在は100種ですが、これからさらに調べていきたいと思ひます。

八丈島産クモ類目録 (☆のついているものは撮影しているもの)

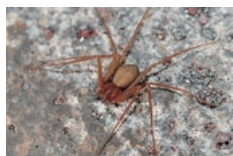
ジグモ科	
☆	ジグモ
トタテグモ科	
	キノボリトタテグモ
☆	キシノウエトタテグモ
イトグモ科	
☆	イトグモ
ヤマシログモ科	
	ヤマシログモ
	ユカタヤマシログモ
エンマグモ科	
	ミヤグモ
センショウグモ科	
☆	センショウグモ
チリグモ科	
	チリグモ
	ハチジョウチリグモ
	ヒラタグモ
ウズグモ科	
☆	ウズグモ
ヒメグモ科	
☆	オオヒメグモ
☆	ニホンヒメグモ
☆	アシブトヒメグモ
	ホシミドリヒメグモ
	ヒシガタグモ
	ハンゲツオスナキグモ
☆	シロカネイソウロウグモ
☆	ヤリグモ
ユアギグモ科	
	ハチジョウウスイロユアギグモ
コツブグモ科	
	ナンブコツブグモ
サラグモ科	
	イマダテテングヌカグモ
	イソヌカグモ
	デーニッツサラグモ
	ヘリジロサラグモ
	シバサラグモ
	ヤマジサラグモ
	アサカワゴマグモ
	カマクラヌカグモ
アシナガグモ科	
☆	オオシロカネグモ
☆	チュウガタシロカネグモ
☆	コシロカネグモ
☆	ハラビロアシナガグモ
☆	ヤサガタアシナガグモ
☆	アシナガグモ
☆	ウロコアシナガグモ
	ヤマジドヨウグモ
	メガネドヨウグモ

ジョロウグモ科	
	ジョロウグモ
コガネグモ科	
	オニグモ
	アオオニグモ
	ドヨウオニグモ
☆	コゲチャオニグモ
☆	ホシスジオニグモ
	ヤミイロオニグモ
☆	サツマノミダマシ
☆	ヘリジロオニグモ
☆	シロゴミグモ
☆	ギンメッキゴミグモ
☆	ミナミノシマゴミグモ
☆	マルゴミグモ
	ヤマトゴミグモ
	シマゴミグモ
	ハツリグモ
☆	ナガコガネグモ
☆	コガネグモ
☆	コガタコガネグモ
☆	ムシバミコガネグモ
	シロオビトリノフンダマシ
☆	ツシマトリノフンダマシ
☆	スズミグモ
コモリグモ科	
	ウツキコモリグモ
☆	キクツキコモリグモ
	ハラクロコモリグモ
キシダグモ科	
☆	イオウイロハシリグモ
	スジボソハシリグモ
シボグモ科	
	シボグモ
ササグモ科	
☆	ササグモ
タナグモ科	
	クサグモ
	イエタナグモ
ナミハグモ科	
	カチドキナミハグモ
ウシオグモ科	
	イソタナグモ
ハグモ科	
	ナシジカレハグモ

ガケジグモ科	
	シモフリヤチグモ
	メガネヤチグモ
ウエムラグモ科	
	イタチグモ
フクログモ科	
	ハマキフクログモ
	ムナアカフクログモ
ネコグモ科	
	キレオビウラシマグモ
ワシグモ科	
	シノノメトンビグモ
アシダカグモ科	
☆	アシダカグモ
エビグモ科	
☆	キハダエビグモ
カニグモ科	
	アズマカニグモ
	チシマカニグモ
	ニッポンオチバカニグモ
	コキハダカニグモ
☆	ハナグモ
☆	コハナグモ
☆	アズチグモ
☆	オキナワアズチグモ
ハエトリグモ科	
☆	ヨダンハエトリ
☆	マツモトハエトリ
☆	マミジロハエトリ
☆	マガネアサヒハエトリ
	ワカバネコハエトリ
☆	カラスハエトリ
☆	アオオビハエトリ
☆	アダンソンハエトリ
☆	チャスジハエトリ
☆	ミスジハエトリ
	シラヒゲハエトリ
☆	イソハエトリ
☆	ヤハズハエトリ
☆	ネオンハエトリ
☆	ネコハエトリ
☆	アリグモ
☆	タイリクアリグモ
☆	ヤガタアリグモ

引用文献及び参照図書

葛西重雄. 1968. 八丈島動植物総目録：蜘蛛類目録. 東京都教育庁八丈出張所.
東京電力(株), 東電設計(株). 1994. 八丈島地熱地点に係わる自然公園内環境基礎調査：IV.5.3真正クモ類.
小野展嗣. 2001. 伊豆諸島のクモ類. 国立科学博物館専報, 37:261-277.
小野展嗣. 2002. クモ学：摩訶不思議な八本足の世界. 東海大学出版会.
日本蜘蛛学会. 2005. 採集情報. 遊絲, 16:16.
新海栄一. 2006. 日本のクモ. 文一総合出版



八丈植物公園季節調査会の報告

八丈ビジターセンターでは、毎月第二日曜日に、植物公園の生きものから季節を感じようという趣旨で、「八丈植物公園季節調査会」を開催しています。毎回見られる植物がどのように変化していくか、また、どんな鳥や植物が見られるかも観察しています。今年１回目の調査は１月１１日に行いました。

八丈植物公園季節調査（平成 21 年第 1 回）参加者・黒田，菊池昭，沖山，金田，村上 VC 菊池

NO.	和名（島名）	状態	NO.	和名（島名）	状態
草本			8	ツルグミ	花
1	アオノクマタケラン	熟した実	9	テイカカズラ	はじけた実
2	アキノノグシ	花と実	10	トベラ	はじけた実
3	イヌホオズキ	実が残る	11	ハゼノキ	紅葉と実が残る
4	ウスベニニガナ	花	12	ハチジョウイボタ	熟した実
5	オオアレチノギク	花と実	13	ハチジョウキブシ	固い蕾
6	オオシマカンスゲ	咲き始め	14	ヒサカキ	蕾
7	オオバコ	実が残る	15	ヒメユズリハ	熟した実
8	オニタビラコ	花	16	ホルトノキ	実が残る
9	オムナグサ	蕾	17	マサキ	熟した実
10	カタバミ	花	18	マンリョウ	熟した実
11	キランソウ	咲き始め	19	モチノキ	熟した実と蕾
12	コセンダングサ	実	20	ヤツデ	実
13	コマツヨイグサ	花	21	ヤブツバキ	花
14	ススキ	実	22	ヤブニッケイ	熟した実
15	スズメノカタビラ	花	23	ヤマモモ	蕾が見える
16	センニンソウ	実	シダ植物		
17	タチイヌノフグリ	咲き始め	1	アスカイノデ	
18	タネツケバナ	花と実	2	アラゲヒメワラビ	
19	ツルソバ	花と実	3	オオイタチシダ	イタチシダを訂正
20	ツルマオ	実	4	オオタニワタリ	
21	ツワブキ	花と実	5	オニヤブソテツ	
22	ノコンギク	実	6	カニクサ	
23	ハキダメギク	花と実	7	スギナ	ツクシも見える
24	ハチジョウアザミ	花と実	8	タチクラマゴケ	
25	ハルジオン	咲き始め	9	タチシノブ	
26	ヒナギキョウ	花と実	10	タマシダ	
27	ヒノキバヤドリギ	花と実	11	ナチシケシダ	
28	フウトウカズラ	熟した実	12	ノキシノブ	変化葉（獅子葉）
29	ヘクソカズラ	実	13	ハチジョウカナワラビ	
30	ムラサキカタバミ	花	14	ハチジョウシダ	
31	ヤクシソウ	花と実	15	ハチジョウベニシダ	
木本			16	ヒトツバ	
1	アオキ	熟した実	17	ホシダ	
2	イヌビワ	実	18	ホラシノブ	
3	オオバヤシャブシ	実と蕾	19	マメヅタ	胞子葉が目立つ
4	ガクアジサイ	実	今回はシダ植物 19 種を含め、73 種の植物を観察しました。秋の花が咲き残り、気の早い春の花も咲き始めていますが、それぞれの数は少なく全体に地味な印象でした。		
5	シマクサギ	実が残る			
6	センダン	実が残る			
7	タイミンタチバナ	固い蕾			

八丈島では、内地と少し様変わりした種や独自に進化した種など、聞き慣れない種があるのが特徴です。今回は、「ハチジョウカンスゲ」にスポットを当ててみたいと思います。



ハチジョウカンスゲ *Carex hachijoensis*

カヤツリグサ科、八丈島と御蔵島に分布する多年草。

三原山のカルデラ内や山頂付近では普通に見られ、高さは 30cm 以上にもなります。3 月頃に花が咲き、葉の断面が M 字形になることや果胞が熟すとかなり膨らむことなどでオオシマカンスゲと見分けられます。

【環境省 RDB 絶滅危惧Ⅱ類・富士箱根伊豆国立公園指定植物】

2009 八丈ビジターセンター プログラムカレンダー

日付の下に書かれている時刻は、八丈島（神湊）の潮の満ち引きの時刻です。
左側が満潮時刻、右側が干潮時刻です。また日付の横は月の満ち欠けです。

日	月	火	水	木	金	土
1 ガイドウォーク 08:23 02:02 20:54 14:49	2	3 立春 03:01 00:29 03:33 09:13 16:59 09:51 18:33	4	5	6	7 ガイドウォーク 04:52 10:00 14:51 21:59
8 ガイドウォーク 植物公園 季節調査会 05:21 10:38 15:50 22:44	9	10	11 ガイドウォーク 06:38 00:00 18:12 12:19	12	13	14 ガイドウォーク 07:39 01:28 20:22 14:06
15 ガイドウォーク 07:59 01:50 21:13 14:47	16	17	18 雨水 09:04 18:31	19	20	21 ガイドウォーク 04:44 09:53 14:37 21:44
22 ガイドウォーク 04:58 10:17 15:27 22:18	23	24	25	26	27	28 ガイドウォーク 八文学講座 「春探しホテル水路 ウォーク」 06:53 00:42 19:17 13:02
			この色の日は 特別行事があります			

イベントプログラム

植物公園季節調査会

植物公園内で動植物の調査をしながら季節の変化を一緒に感じましょう！
2/8（13:30～ 約1時間半）
中学生以上 ビジターセンター集合・解散 無料 定員：15名

八文学講座

「春探しホテル水路ウォーク」

毎月行っている八文学講座。今月は、ホテル水路周辺へ春を探しに行きます。
2/28（13:30～ 約1時間半）
中学生以上 鴨川ホテル水路集合・解散 参加費：50円 定員：15名

ビデオプログラム

10:00～ 八丈・海・生きものたち

11:00～ おじゃりやれ 八丈島

14:00～ おじゃりやれ 八丈島

15:00～ おじゃりやれ 八丈島

16:00～ 八丈・海・生きものたち

上記以外での上映は予約にて可能です

東京都八丈ビジターセンター 2009.2.1 第93号

開館時間 9:00～16:45 年中無休（入場無料）

〒100-1401

東京都八丈島八丈町大賀郷2843

電話：04996-2-4811 Fax：04996-2-4888

編集後記

クモはいったいどうやって島にやってきたのでしょうか。お尻から出した糸と共に風に流されて？海流に乗って流されてきたものの上に
乗って？人が運んできたものと一緒に？ きっと島にはもっともったくさんのクモがいるはず、さらに調べてみることにします。（高）